

《 兵 庫 県 》

兵庫県における森林雪害の記録とその問題点

兵庫県立林業試験場

矢 野 進 治

I はじめに

昭和58年度～60年度の3年間実施された普及情報システム化事業「人工林雪害の育林的防除技術に関する基礎調査」の一課題として冠雪害発生状況資料目録の作成がとりあげられた。そこで冠雪害および広く森林、林業雪害の資料の収集をはじめたが、雪害の記録はきわめて少なく、明らかに冠雪害の発生が知られている例でも記録として残されていない場合もみられた。その後も折にふれ雪害記録の収集につとめているが、現時点までに得られた資料を示すとともに、それらをもとに森林雪害の記録の概略を述べ、今後の雪害記録のとりまとめの参考に供する。

II 主な雪害関係資料

1. とりまとめられている資料

広く雪害全般をとりあげた資料としては表-1にあげたものがある。このうち、2編は38年豪雪災の記録であり、二編は他の災害史の中で雪害としてとりあげられているものである。この種の資料は人的被害を第一とし、建造物、施設の被害に重きが置かれている。

林木の被害に限ってまとめたものとしては表に示した他は当該雪害の1～2例の林分被害の詳細な調査報告があり、これらは数編あるが当該雪害の全体については詳しくない。なお、38年豪雪災については気象庁から「昭和38年1月豪雪調査報告」が出されており、世界的な気象状況の解説から各地の被害状況まで非常に詳しくまとめられている。

表-1. 主な雪害関係資料

	資 料 名	発 行 年	発 行 者 等
雪 害 一 般	兵庫県災害誌	1954.3	兵庫県他
	昭和38年1月兵庫県豪雪被害と応急対策の概要	1963.2	兵庫県消防防災課
	兵庫県雪害資料(全6冊)	1963	同 上
	兵庫県における災害の概要	1983	兵庫県災害対策本部
森 林 雪 害	昭和38年1月豪雪による林木の被害について	1963.4	兵庫県林業改良普及協会他
	昭和49年2月異常降雪による造林地の被害状況 (同上附録、昭和50年1月の被害と復旧計画)	1975	兵庫県林務課
	56豪雪による造林木の被害と回復状況	1983.3	兵庫県林試研報第25号

2. 新聞記事

昭和12年1月以降の朝日新聞と昭和16年2月以降の神戸新聞の但馬版について、おおむね11月から翌年4月末までの雪に関する記事を収集しているが、その中から森林雪害を拾いだした。また、昭和37年以降

の神戸新聞の丹波版によって、丹波地方の記事をもとにこの地方の森林雪害を拾い出した。

3. その他の森林雪害資料

兵庫県林業統計書（兵庫県農林水産部）によって昭和40年度以降の国営森林保険の損害てん補状況を調べ表－2に示した。保険請求に被災後2か年間の猶予期間があること、統計上支払われた年度に計上されていることにより被災時期との間に時間的ずれが生じている可能性があるが、地域的な雪害の発生、またその規模を知ることのできる資料である。

表－2. 森林国営保険損害てん補状況（雪害）

管内 年度	社		竜野		上郡		豊岡		和田山		柏原		合計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
41			2	1.83	9	4.60							11	6.43
42							2	0.16					2	0.16
43							3	2.10			2	0.20	5	2.30
44	6	0.30					4	4.02			1	1.33	11	5.65
47					1	0.03							1	0.03
48									1	1.37			1	1.37
49							1	1.50	54	41.36			55	42.86
50			2	3.56			6	3.65	25	35.83			33	43.04
51							45	11.80			1	0.11	46	11.91
52							26	1.82					26	1.82
53			1	0.02							5	1.86	1	0.02
56			1	0.02			86	48.01	2	0.42			94	50.31
59			8	1.27			206	207.15	27	7.30			241	215.72
60			1	0.20			14	4.71	2	0.15			17	5.06

その他、印刷物にはされていないが雪害発生時に各市町の雪害状況を農林（水産）事務所できりまとめ、県林務課へ報告されている資料等がある。

Ⅲ 兵庫県下の森林雪害

先に述べた資料をもとに、兵庫県下の森林雪害の概略を表－3に示した。記録としては明治37年から得られたが、兵庫県災害誌によるものは被害規模等は明らかでなかった。また、兵庫県における災害の概要といった資料はその編集方針上、人的被害、家屋、施設に重点がおかれており、林業関係でかなり大きな被害があった昭和49年2月、50年1月の雪害もとりあげられていない。特に昭和49年2月の雪害は主として林業だけが被害を受けたものであり、こういった場合には記録に残りにくいものと考えられる。

表-3. 兵庫県下の森林雪害

発生年月	被害の状況	参考資料
M 37.1	北播、丹波、但馬一円、積雪丈余に及ぶ、出石郡竹木被害多い	災害誌 ¹⁾
M 39.1	近年稀なる積雪、出石郡スギ、ヒノキ倒伏あり、飾磨郡同倒伏多少あり	〃
M 41.3	7～8日に大雪あり、朝来郡竹木損害、倒伏少なからず、永上郡竹木に被害	〃
S 6.2	9日姫路で8寸、三原郡、津名郡で1尺～1尺5寸の積雪、倒木、松竹折損	〃
S 7.2	25日淡路に雪害、松竹雑木に被害	〃
S 38.1～2	38豪雪、農林関係被害は、42億5千万円、林業被害（2月26日集計）幼齡林被害2万9千ha、壯齡林被害20万1千㎡、竹29万束他	雪害資料 ²⁾ 災害の概要 ³⁾
S 40.3	16日の雪、穴栗郡内で直径10～30cmのスギ、ヒノキ200万本折れ、被害数億円 佐用郡内の山林被害6億7千万円、寒冷前線に伴う降雪で農林被害約34億円	神戸新聞 災害の概要
S 43.2	15日の雪、多紀郡、60ha、1,510万円、氷上郡、53ha、505万円、スギ、ヒノキの折れ	神戸新聞
S 49.2	南海低気圧による県中部の降雪、スギ、ヒノキの折損、倒伏、2市30町に被害 9,390 ha、36億円、内840 haは要改値	S 49年の ⁴⁾ 被害
S 50.1	北但各町スギ、ヒノキ15～20年生の被害めだつ1/10～1/22、2/12～2/23 の二回の雪による1市25町、4,600 ha、22億1千万円	〃 神戸新聞
S 51～52	大雪、農林被害は県北部の豪雪で8億4千万円	災害の概要
S 55～56	56豪雪、1市18町、4,600 ha、特に日本海沿岸部に被害大、但馬全域の農林被害 は約50億円	神戸新聞 研報25号 ⁵⁾
S 59	山林被害11億7千万円、豊岡管内に被害大、倒伏、折損	神戸新聞
S 61.3	県南東部の2市4町で被害区域面積約360haの冠雪害、多くは倒伏、一部折損	被害報告 ⁶⁾
S 61.12	県南西部佐用郡内の3町22ha、2,250万円、主としてスギの折損、倒伏	〃

注) 1) 兵庫県災害誌 2) 兵庫県雪害資料 3) 兵庫県における災害の概要 4) 昭和49年2月異常降雪による造林地の被害状況 5) 56豪雪による造林木の被害と回復状況 6) 農林事務所から県林務課への造林地等被害報告書

この記録に残りにくいということは表-3.において昭和7年から38年まで記録がとんでいることから明らかである。兵庫県における災害の概要は明治40年以降の各種災害をまとめた資料であるが、38年豪雪災まで森林雪害の記載はない。表-4.に森林雪害の予想される記録を示したが、その内容から昭和9年から35年までのうち、6年は冠雪害が発生している可能性が高い。そしてその被害の記録は今のところ得られていない。また、表-2.の保険てん補状況と表-3.をつき合わせると41年度のてん補は40年の雪害、44年は43年の雪害、51年は50年の雪害とみなすとおおむね一致しており、昭和49年、50年、56年、59年の森林雪害が激しいものであったことが国営保険のてん補状況からも伺われる。しかし、この資料からはどういった雪害であったかはわからない。

一方、表-4.の兵庫県における災害の概要による昭和57年は、この資料では「1月から3月にかけての降雪により農林水産物等に被害があった」としてとりあげ被害総額を2,900万円余りとしている。この年は雪の少ない年であり、新聞記事にも森林雪害はみられず、国営保険のてん補の記録もない。しかし、出石郡の一部では冠雪害が発生したが、この被害が被害額に含まれているかは明らかでない。また、昭和61年3月、12月の雪害は狭い範囲に発生した冠雪害であり、県林務課への被害報告書にのみ記録されている

表－4. 森林雪害の予想される記録

記録の日付	内 容	参考資料
S 9.1/4~1/5	但馬地方、水分の多い雪のため通信線切断、電柱倒壊多数	災 害 誌
S 21.1/15	13日の雪で電柱、電話線の倒壊、断線多発	神 戸 新 聞
S 21.12/24	長距離電話不通	”
S 27.1/9・1/13	8日の雪で豊岡配電管内電柱倒壊多発、和田山、豊岡局電話柱倒壊多発	”
S 28.1/14	12日の雪で電話線大屋～和田山～豊岡不通、電柱倒壊あり	”
S 28.1/15	14日の雪で電柱倒壊多発	”
S 34.12/20	19日の雪で豊岡、竹野、和田山他で電柱倒壊多発	”
S 35.12/19	18日の雪で但馬地方、電柱倒壊多発	”
S 55.2/16	吹雪のため、豊岡、出石で送電線切断	朝 日 新 聞
S 57.1~3	1～3月の雪で農林水産物に22,636千円の被害がでた	災害の概要
S 61.2/9	8日の雪で宮津線、山陰線で倒木があり、列車ダイヤ乱れる	朝 日 新 聞

ものである。森林雪害はもともと災害史といった形の記録に残りにくい上に、規模の小さいものは限られた人の目にだけふれる形の報告書で処理されてしまう傾向が強い。したがって雪害対策の地帯区分といったものを考える上でも非常に資料が乏しいことになる。

このことから、雪害の発生時にはその記録を何らかの形で公表し、保存することが望まれる。

雪害発生時の記録はその対策を考える上での最も重要な資料の一つであり、今後も資料の発掘、収集につとめ、表－3.をより詳しくして、森林雪害史といったものにまとめていきたいと考えている。